

既存下地	塩ビシート防水	改修仕様	NCA-603TC
採用理由	①配管架台、設備機器が屋上平面の3分の2を占めている状況。配管架台についても一部は浮かす等様々な条件がある中、ケミアスの1層貼りと架台工法を組み合わせ、最終的には一体型の防水層を形成する事が可能であった事。 ②塩ビシート防水との密着性も問題なかった事。(塩ビシートの状態も良かった)		

施工現場全景



施工前



施工後

物件	ホテル屋上防水改修工事					
面積	平面部	374 m <sup>2</sup>	立上り部	34 m <sup>2</sup>	合計	408 m <sup>2</sup>

ドレン周り、部分処置部分

施工前		施工前状況
	既存アスファルト防水の表面の割れ、浮きが多く見られた。側溝部は全面浮いており漏水もあった。	

施工中		対処方法
	表面の浮きは部分撤去して樹脂モルタルにて補修する。断熱材からの浮きはアンカプレート(径80)にて固定した。	

施工後		完成の状態
	段差や大きな浮きが目立たなくなった。	